



一関市立山目小学校 校報 No.3

2024.5.14 文責：校長 菊池



◆ 校長日記 ◆

がんばりを応援する運動会に

運動会前、毎年お伝えしている文章です。
ある小学校での6年生と校長の手紙のやりとりです。

ぼくは運動会が苦手です

6年1組 ○○○○

ぼくは2、3年生のころ、友だちに泣かされたり、ぼうしを取られたりした。そんなとき、本だなのすみに入り、じっとひとりでしんぼうしていた。学校中をにげ回ったこともある。いじめていた人は、ぼくが弱いからおもしろがってやっていた。

ぼくは運動会が苦手だ。50メートル走のとき、にやにやしながらかけ足をした。今から考えると一生懸命走ればよかったと思う。6年生のとき、先生が「ビリでも一生懸命走れ。」と言われたので、一生懸命走った。今ではいじめられたりしない。

ぼくは「横着（おうちゃく）」という悪いくせがある。先生の言うとおり、なんとか早くなおしたい。

東井校長は、右のような返事を書かれています。たとえ1位でなくても、ビリであっても、力を出し切ろうとする子、あきらめずにがんばる子どもたちに大きな拍手がわきあがる運動会にしたいと思います。



堂々とビリを走りなさい

校長 東井 義雄

ビリであることは、ちっともはずかしいことではない。なまけることのほうが、よっぽどはずかしいことだ。走ることに限らず、生きていく間には、いろいろなことでビリを走らなければならないことがあります。

しかしそのとき、どうか日本一立派なビリであることができるよう、こころがけてほしいと思います。堂々としたビリであってほしいと思います。これは、なかなか難しいことです。ビリになると、どうしてもひくつになり、はずかしくなり、こころまで貧乏になりやすいからです。ですが、ビリの味のわかる人間でなければ、困っている人、弱い人、貧しい人の気持ちなんか、絶対にわかるものではありません。とにかく、ビリになっているときは、その人にとって得がたい勉強の機会をあたえられているときだと思えます。

お金はいちばんたくさん持っている。体はいちばん達者。勉強もいちばんできる。姿、形もいちばん美しい。何ごとにつけてもビリなんかとったことがない。そういう人が、もしあったら、それはたいへん不幸な人だと思います。ビリの味のわからない人は、人生の味を知らないのと同じだと言ってもいいでしょう。

とにかく、〇〇君の「走ることがおそい」というねうちを、〇〇君のすべてのすぐれたところにも活かしてほしいと思います。一番も、二番も、三番も、ビリのおかげで一番や二番や三番になれているのです。

とにかく、堂々とビリを走ることができるようになりましょう。

東井義雄「こころ」の教え 東井義雄 著
佼成出版社 平成13年



熱中症予防 水筒持参 と 帽子着用

18日(土)の運動会当日は、天候晴、気温30度の真夏日と予報されています。

学校では、児童の熱中症予防のため、次の対策をしております。

山目小の熱中症予防対策

- ① 朝の健康観察に加え、活動中も観察に心がけ、体調不良時は休憩させます。
- ② こまめな水分補給と休憩をとらせるよう心がけます。
- ③ 屋外では、帽子着用を徹底します。

※ なお、運動会の途中でも、熱中症の危険がある場合は、中断し屋内退避などの対応を取ります

つきましては、毎日の水筒持参と衛生管理、登下校時の帽子着用につきまして、ご協力をお願いいたします。

運動会当日は、観覧の皆様も熱中症対策を必ずお願いいたします。

学校メールのチェックを
お願いします！



天候等により、運動会を延期や中止する場合は、学校メール(安心でんしょばと)でお知らせします。日頃からのメールチェックをお忘れなく！